

## 故館 稔所長の略歴と業績

### 略 歴

明治39年11月11日、三重県鈴鹿郡亀山町大字亀山西丸560番地において出生

大正2年4月亀山町立亀山小学校へ入学，同8年3月同校卒業

大正8年4月三重県立津中学校へ入学，同12年3月同校卒業

大正12年4月第八高等学校（文科甲類）へ入学，同15年3月同校卒業

大正15年4月東京帝国大学経済学部経済学科へ入学，昭和4年3月同学科を卒業

大学卒業後，土方成美教授研究所（昭4.4.3～5.6.17），株式会社日本評論社（特別編輯囑託，昭5.6.18～8.10.11）を経て，昭和8年10月12日財団法人人口問題研究会研究員となり，同12年7月20日まで勤務。

その後，内務省（後に厚生省）社会局事務取扱囑託（昭12.1.18～14.8.25），中央協和会囑託・編輯委員（昭13.12.15～14.4.5）などを経て，昭和14年8月，厚生省の附属機関として設立された人口問題研究所に入所。

昭和14年8月25日人口問題研究所研究官

昭和17年11月1日厚生省研究所人口民族部人口政策研究部長

昭和21年5月1日人口問題研究所総務部長

昭和22年7月29日厚生省統計官

昭和25年12月から翌26年3月までアメリカ合衆国における人口問題研究状況を視察

昭和29年5月1日日本ユネスコ国内委員会（社会科学小委員会・科学活動小委員会）調査委員（同39年3月31日まで）

昭和29年8月31日から9月10日，ローマにおいて開催の世界人口会議に出席

昭和32年9月，ボンベイに開設された国連アジアおよび極東人口教育調査地域センターの顧問

昭和32年12月17日国際連合経済社会理事会人口委員会委員・日本政府代表（同36年再選，同40年3選され，同44年12月辞任）

昭和34年4月1日人口問題研究所長

昭和35年3月28日経済学博士（「形式人口学」による）

昭和36年6月1日国立遺伝学研究所評議会評議員

昭和38年12月10日から20日まで，ニューデリーにおいて開催のアジア人口会議に国連専門家として出席

昭和39年2月25日第11回太平洋学術会議（昭41.8～9.10，東京）組織委員会委員

昭和40年1月11日社会保障研究所参与

昭和40年1月27日社会開発懇談会委員

昭和40年8月30日から9月10日まで，ベオグラードにおいて開催の第2回国連世界人口会議に出席，副会長に選出さる。

昭和41年5月16日第12回国際遺伝学会議組織委員会委員

昭和41年8月22日資源調査会委員

昭和43年12月1日統計数理研究所評議員会評議員

昭和44年3月13日科学技術会議専門委員

昭和44年8月25日太平洋学術研究連絡委員会委員

昭和44年12月16日国際統計協会通常会員

昭和45年6月，第2回アジア人口会議（昭47.11.1～13，東京開催予定）準備委員会副議長

昭和47年3月21日午後10時15分，脳卒中のため東京都世田谷区代田の自宅で死去，享年65歳4月。同日付従三位・勲二等に叙せられ，瑞宝章を授けらる。

この間，枚挙にいとまのないほどに，その他の各種機関の役員・委員・講師等を歴任しておられるがそのうち，主要なものを列挙すると次のとおりである。（ ）内は着任年月。

#### 〔審議会関係〕

国土総合開発審議会専門委員（昭26.3），人口問題審議会幹事（昭28.11）・同専門委員（昭28.12），栄養審議会臨時委員（昭29.6）・同委員（昭34.12），統計審議会専門委員（昭30.7）・同委員（昭41.10），経済審議会専門委員（昭30.9）・同臨時委員（昭38.7），社会保障制度審議会幹事（昭34.4），中央児童福祉審議会委員（昭36.6），海外移住審議会専門調査委員（昭37.6）・同委員（昭45.8），首都圏整備審議会委員（昭38.3），国民経済計算審議会専門委員（昭38.5），自然公園審議会委員（昭41.4），社会教育審議会委員（昭42.11），雇用審議会委員（昭44.3），医療審議会委員（昭45.10），中央公害対策審議会委員（昭46.9）等に任命され，人口問題に関する専門家としての立場から，それぞれの審議に参加し，多大の貢献をされた。

#### 〔教育関係〕

東京帝国大学経済学部講師（昭17.10），一橋大学社会学部講師（昭22.10）・同経済学部講師（昭28.4），統計職員養成所講師（昭22.10），東京教育大学農学部講師（昭23.10），東京大学経済学部講師（昭30.4）・同教養学部講師（昭31.10）・同理学部講師（昭37.10）・同学大学院数物系研究科地理学課程授業担当（昭37.10）・同理学系研究科授業担当（昭41.10），東北大学経済学部講師（昭32.5），早稲田大学講師（昭42.4）等をつとめられ，人口学，人口統計学および人口問題を講じ，この分野において教育界に貢献した功績は大きかった。

#### 〔その他〕

上掲の国連人口委員会委員を始めとして，国際人口学会，国際統計協会，国際家族計画協力会議等の役員を勤め，各種国際会議にも出席し，人口問題に関する国際的討議に多大の貢献をした。国内においても，日本人口学会常務理事，日本統計学会評議員，日本老年社会科学会理事等として学界の活動に貢献し，また，財団法人人口問題研究会常任理事，毎日新聞社人口問題調査会委員等，民間人口関係機関の役員としても活躍された。

## 主要著作目録

### 1 人口問題研究所刊行物

#### (1) 『人口問題研究』に掲載のもの

##### ＜論文題目＞

＜巻号：ページ（発行年月）＞

- 大正九年・大正一四年・昭和五年・昭和一〇年道府県別及市郡別標準化  
出生率、死亡率及自然増加率（上田正夫との共同執筆）…………… 1—1：21～28（昭15. 4）
- 北米合衆国都市社会階級別出生力及再生産力に関する一報告…………… 1—1：58～63（昭15. 4）
- 水島博士「内地六大都市の真の人口自然増加率」…………… 1—1：63～64（昭15. 4）
- 国勢調査間年次に於ける男女年齢別人口の推計（一）（窪田嘉彰との共筆）…………… 1—2：24～39（昭15. 5）
- 国勢調査間年次に於ける男女年齢別人口の推計（二）（窪田嘉彰との共筆）…………… 1—3：43～55（昭15. 6）
- 国勢調査間年次に於ける普通世帯人口及普通世帯数の推計（窪田嘉彰との共筆）…………… 1—4：49～51（昭15. 7）
- 昭和一〇年内地一二七市標準化出生率、死亡率及自然増加率（予報）  
（上田正夫との共筆）…………… 1—5：20～27（昭15. 8）
- 最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向（予報）（一）（上田正夫・窪田嘉彰との共筆）…………… 1—6：17～51（昭15. 9）
- 最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向（予報）（二）（上田正夫・窪田嘉彰との共筆）…………… 1—8：15～47（昭15. 11）
- 人口都市集中の地域的形態に関する一つの資料（概報）——都市人口の  
出生地別構成——（上田正夫との共筆）…………… 1—9：14～34（昭15. 12）
- 最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向（予報）（三）（上田正夫・窪田嘉彰との共筆）…………… 2—1：39～43（昭16. 1）
- 都市人口補給源としての「仮想的背地」の決定に関する一考案（上田正夫との共筆）…………… 2—2：33～43（昭16. 2）
- 人口再配分計画の基礎として見たる人口増殖力の地域的特性…………… 3—2：1～40（昭17. 2）
- 東亜共栄圏人口略説（暫定稿）（一）（上田正夫・窪田嘉彰との共筆）…………… 3—10：1～33（昭17. 10）
- 地域的に見たる我が国生産力の発展と人口の集積…………… 5—2：15～45（昭21. 2）
- 昭和二五年までの推計人口の分析（上田正夫・窪田嘉彰・高木尚文との共筆）…………… 5—3・4・5・6：1～51（昭22. 6）
- 昭和二十五年までの推計将来人口の改算（上田正夫・窪田嘉彰・高木尚文との共筆）…………… 5—7・8・9：24～47（昭22. 9）
- 人口と近代的公衆衛生との基本的関係…………… 7—4：1～23（昭27. 3）
- 人口統計学序説——人口統計集団——…………… 8—1：1～28（昭27. 7）
- 地域社会の大きさと人口現象（上田正夫との共筆）…………… 8—2：10～72（昭27. 10）
- わが国最近の出生と死亡の変動が人口構造に及ぼす影響に関する一研究…………… 60：1～74（昭30. 3）
- 国連世界人口会議の概要…………… 61：63～77（昭30. 8）
- 平均余命曲線の型について（1）…………… 64：1～14（昭31. 5）
- “Cologistic”曲線の二三の適用例——わが国の2集落の事実について——…………… 65：1～11（昭31. 8）
- 平均余命曲線の型について（2）…………… 66：28～44（昭31. 12）
- 平均余命曲線の型について（3）…………… 67：19～29（昭32. 2）
- 青年期人口の地域的分析（1）（上田正夫・濱 英彦との共筆）…………… 69：1～32（昭32. 10）

○青年期人口の地域的分析(2) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	70 : 1~20 (昭32. 12)
○アジアおよび極東人口教育調査地域センターと開所会議の概況報告……………	70 : 55~81 (昭32. 12)
○青年期人口の地域的分析(3) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	71 : 34~56 (昭33. 3)
○青年期人口の地域的分析(4) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	72 : 31~46 (昭33. 5)
○青年期人口の地域的分析(5) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	73 : 44~74 (昭33. 9)
○アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第1回会合概況報告……………	73 : 75~84 (昭33. 9)
○青年期人口の地域的分析(6) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	74 : 63~84 (昭33. 12)
○青年期人口の地域的分析(7) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	75 : 35~63 (昭34. 3)
○青年期人口の地域的分析(8) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	76 : 1~40 (昭34. 5)
○第10回国際連合人口委員会概況報告……………	76 : 41~75 (昭34. 5)
○青年期人口の地域的分析(9) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	77 : 25~50 (昭34. 8)
○アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第2回会合概況 報告……………	77 : 51~59 (昭34. 8)
○青年期人口の地域的分析(10) (完) (上田正夫・濱 英彦との共筆) ……………	78 : 20~42 (昭34. 12)
○近代形式人口学の発展(1) ……………	79 : 25~44 (昭35. 6)
○近代形式人口学の発展(2) ……………	80 : 43~75 (昭35. 9)
○“新しい国の進歩のための科学に関する国際会議” 概況報告……………	81 : 23~37 (昭35. 12)
○所得と人口との地域分布(1) (小山美紗子との共筆) ……………	82 : 1~17 (昭36. 3)
○アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第3回会合概況 報告……………	84 : 80~92 (昭36. 12)
○日本におけるメガロポリスの人口学的研究序説……………	94 : 1~10 (昭40. 4)
○安川正彬『人口の経済学』……………	96 : 49 (昭40. 10)
○第2回国連世界人口会議の概要……………	97 : 34~40 (昭41. 1)
○金 哲『韓国の人口と経済』……………	97 : 55 (昭41. 1)
○ラリー・K・Y・NG, スチュアート・マッド編『人口危機, 意義と対策』……………	98 : 51 (昭41. 4)
○第11回太平洋学術会議における人口問題総会シンポジウム……………	102 : 51~58 (昭42. 4)
○都市人口分布における成長法則——若干の外国の都市人口への適用例—— (三澤緋佐子との共筆) ……………	105 : 1~11 (昭43. 1)
○はしがき(特集 日本の人口問題) ……………	106 : 1~5 (昭43. 4)
○日本における国内人口移動の経済的ポテンシャル(三澤緋佐子との共筆) ……………	109 : 1~19 (昭44. 1)
○はしがき(特集 日本における世帯の動向) ……………	111 : 1~3 (昭44. 7)
○最近における人口再生産地域構造の変化(高橋晟子との共筆) ……………	113 : 1~14 (昭45. 1)
○はしがき(特集 わが国出生力の動向と将来予測) ……………	114 : 1~4 (昭45. 4)
○「第15回国際連合人口委員会」概況報告……………	114 : 50~59 (昭45. 4)
○はしがき(特集 地域人口論) ……………	118 : 1~4 (昭46. 4)

(2) 『人口問題研究所年報』に掲載のもの

< 論文題目 >

<号: ページ(発行年月)>

○日本人口基本構造の変動——出生および死亡の変動との関連において——……………	1 : 1~5 (昭31. 10)
○同時生命表における最大平均余命について——“寿命”に関する人口統計的1研究……………	2 : 22~25 (昭32. 8)
○人口学的基準構造と指数……………	3 : 1~5 (昭33. 8)
○戦後わが国における人口と所得の地域分布の変動……………	4 : 1~5 (昭34. 10)

- わが国国内人口移動のポテンシャル——人口の地域分布と所得のそれとの関係からみて——（小山美紗子との共筆）…………… 5 : 38~42 (昭36. 1)
- 国内人口移動のポテンシャルと実際人口の移動（小山美紗子との共筆）…………… 6 : 14~18 (昭36. 11)
- 国内人口移動の経済的ポテンシャルとその決定要因（小山美紗子との共筆）…………… 7 : 31~35 (昭37. 9)
- Demography 300年…………… 8 : 1~5 (昭38. 11)
- 戦後日本の人口傾向の logistic 分析（高橋晟子との共筆）…………… 9 : 1~6 (昭39. 12)
- 50歳以上死亡割合に関する一考察（高橋晟子との共筆）…………… 10 : 50~53 (昭40. 10)
- 人口再生産指数（高橋晟子との共筆）…………… 11 : 1~5 (昭41. 11)
- 分娩後閉経期間の人口学的意義——アメリカ家族計画運動50周年に寄せて——（中野英子との共筆）…………… 11 : 34~38 (昭41. 11)
- 日本における都市人口分布の成長曲線——“成長的順位法則”——（三澤 緋佐子との共筆）…………… 12 : 10~14 (昭42. 10)
- 世帯規模と若干の人口学的要因との地域的相関（山口喜一・金子武治との共筆）…………… 13 : 5~10 (昭43. 12)
- 人口再生産地域構造の変容（高橋晟子との共筆）…………… 14 : 1~5 (昭44. 10)
- 労働力人口についての特殊従属人口指数（山口喜一との共筆）…………… 15 : 6~9 (昭45. 12)
- 最近における人口再生産力地域構造の変化（山口喜一との共筆）…………… 16 : 1~8 (昭46. 12)
- 老年人口の増加と地域的偏在（山口喜一との共筆）…………… 17 : (近 刊)

(3) 「研究資料」として発表のもの

< 資 料 題 目 >

<号 (発行年月)>

- 昭和25年までの推計人口の分析（上田正夫・窪田嘉彰・高木尚文との共筆）…………… 14 (昭22. 4)
- 我が国人口増殖力の近い将来——経済安定本部統計研究会将来人口の再生産率について——（高木尚文との共筆）…………… 15 (昭22. 5)
- 特殊の傾向曲線による戦後日本の人口増加形態の表現方法について（高安弘との共筆）…………… 86 (昭28. 2)
- 「社会開発」についての解説…………… 163 (昭40. 4)
- 日本の人口問題…………… 190 (昭44. 3)

(4) “English Pamphlet Series”として発表のもの

< 資 料 題 目 >

<号 (発行年月)>

- Estimated population by sex and ages in the inter-census years, 1916-1938（窪田嘉彰との共筆）…………… 7 [A-No. 5] (1948. 9)
- Demographic situation of population movement in Japan, 1920-1937（上田正夫・窪田嘉彰との共筆）…………… 8 [A-No. 6] (1948. 9)
- Standardized birth, death, and natural increase rate by prefectures, 1920, 1925, 1930 and 1935（上田正夫との共筆）…………… 9 [A-No. 7] (1948. 9)
- Standardized birth, death, and natural increase rate by rural and urban districts, 1920, 1925, 1930 and 1935（上田正夫との共筆）…………… 10 [A-No. 8] (1948. 9)
- Standardized birth, death, and natural increase rate of 127 cities in 1935（上田正夫との共筆）…………… 11 [A-No. 9] (1948. 9)
- On the relation between increase of productive power and growth of population by districts in Japan, 1925-1935—an “Index number of population pressure” by prefectures…………… 14 [B-No. 1] (1948. 9)

- Birth place composition of population of 109 cities in 1930 (上田正夫との共筆) .....25 [B-No.12] (1948. 9)
- An observation on the correlation between standardized birth, death, and natural increase rate and some indices concerning social mode of life by prefectures, 1920, 1925, 1930 and 1935 (上田正夫・窪田嘉彰との共筆) .....26 [B-No.13] (1948. 9)
- An observation on the correlation between standardized birth, death, and natural increase rate and some indices concerning characteristics of cities, 1935 (上田正夫・窪田嘉彰との共筆).....27 [B-No.14] (1948. 9)
- Fundamental differences of population phenomena by the size of communities, 1925, 1930 and 1935 (上田正夫との共筆) .....28 [B-No.15] (1948. 9)
- National statement of Japan at Inaugural Conference, Regional Centre for Demographic Research and Training in Asia and the Far East to be held on November 5-9, 1957 in Bombay, India .....46 (1957.11)
- Trends in population growth and economic development in Japan (Presented to the seminar on "The problems of population growth in under-developed countries and the desirability of family planning", held by the Institute of Development Economics, Karachi, in cooperation with the Population Council, Inc., New York, 8th to 13th September, 1959, Karachi) (黒田俊夫との共筆).....49 (1959. 9)
- Population trend and economic growth in Japan. Reprint of the paper presented to the Round Table on Economic Development with Special Reference to East Asia of International Economic Association, April 1960 .....50 (1960. 4)
- Summary of "Potential of metropolitan concentration of population from the viewpoint of interrelationship between regional distribution of income and that of population" .....51 (1960. 7)
- Recent population trends in Japan. Paper presented to "UN/FAO Regional Census Training Centre for Asia and the Far East" (September 9, 1958).....53 (1958. 9)
- Forecasting manpower resources: Population and labor force—some experiences in Japan.....55 (1962.10)
- Implication of population trends for planning social welfare services.....58 (1964. 2)
- The problem of population and national development.....59 (1964. 9)
- Regional differences in levels of income and internal migration (preliminary) .....61 (1965. 8)
- Some demographic implications of post-partum amenorrhea, in commemoration of the fiftieth anniversary of the American family planning movement (中野英子との共筆) .....62 (1966. 5)
- Papers presented by the staff members of the Institute of Population Problems to the Congress Symposium No. 1, the Eleventh Pacific Science Congress (上田正夫・渡辺定・黒田俊夫・岡崎陽一・河野稠果との共筆).....63 (1966.10)

- Interim report on teaching and research in demography in Japan  
(黒田俊夫との共筆)……………70 (1969.11)
- Administrative implications of rapid population growth: the Japanese  
case (井出嘉憲との共筆)……………73 (1970.10)
- The labour force in Japan viewed from its supply side (preliminary) ……74 (1971. 5)
- Population and environmental problems in Japan (加藤三郎との共筆) ……75 (1971.10)

(5) 「海外参考資料」として発表のもの

＜資料 題目＞

＜号 (発行年月)＞

- ドロシー・スウェーン・トーマスの在米日本人移民に関する調査(1) (島村俊彦との共筆) …… 9 (昭30. 3)
- ドロシー・スウェーン・トーマスの在米日本人移民に関する調査(2) (島村俊彦との共筆) ……10 (昭30. 3)

(6) 「部内研究資料」として発表のもの

＜資料 題目 (発行年月)＞

- Gerontology の二三の性格について——Démographie の立場から (昭29. 6)
- ピサレフ氏：ソ連邦における人口統計の組織，概念およびその規定——1954年国連世界人口会議の報告から—— (昭29. 9)
- 国際連合人口委員会の概要 (昭36. 7)

2 単行図書・資料

(1) 単行図書 (監修・編著を含む) として発表のもの

- 人口問題説話，汎洋社，昭18. 6
- ソローキン，チンメルマン都鄙人口の体力と増殖力 (訳注) 人口問題研究資料新書 1，汎洋社，昭18.12
- 近代戦と体力・人口 (古屋芳雄との共著)，昭19
- 日本人人口の将来，世界経済調査会，昭22.8
- 人口統計，公衆衛生講座，第7輯，日本医書出版株式会社，昭22.11
- 人口統計講義要綱，日本統計協会編，日光書院，昭24. 4
- 人口統計，総理府統計職員養成所編纂，統計講座第2編，日本統計協会，昭24.10
- 人口大事典，Population Encyclopedia (南亮三郎・他との共編)，平凡社，昭32. 7
- 形式人口学——人口現象の分析方法，古今書院，昭35. 6
- 世界人口年鑑，Vol. 12, 1960 (昭和36年日本語版，翻訳監修)，国際連合統計局編，原書房，昭36.10
- 日本の人口移動(編)，形成選書，古今書院，昭36.10 (第1刷)，増補版 (第4刷)，昭42.11
- 韓国家族計画運動視察概要報告 (久保秀史・村松稔との共筆)，昭38.1
- 大都市人口の諸問題——日本の人口移動(2)——(編著)，形成選書，古今書院，昭37.11
- 世界の人口問題 (南亮三郎との共編)，人口学研究会研究叢書II，勁草書房，昭38. 5
- 人口分析の方法——形式人口学要論，形成選書，古今書院，昭38.9 (第1刷)，増補版 (第3刷) 昭42. 4
- 人口都市化の理論と分析 (南亮三郎との共編)，人口学研究会研究叢書III，勁草書房，昭40.12
- マルサスと現代——マルサス生誕二〇〇年記念(南亮三郎との共編)，人口学研究会研究叢書IV，勁草書房，昭41. 5
- 世界人口年鑑，Vol. 18, 1966 (昭和42年日本語版，翻訳監修)，国際連合統計局編，原書房，昭42.12
- 労働力人口の経済分析 (南亮三郎との共編)，人口学研究会研究叢書V，勁草書房，昭43.10

- 世界人口年鑑, Vol. 19, 1967 (昭和43年日本語版, 翻訳監修), 国際連合統計局編, 原書房, 昭43.12
- 人口問題の知識, 日経文庫 (133), 日本経済新聞社, 昭44.8
- 国際連合世界人口年鑑, Vol. 20, 1968 (翻訳監修), 国際連合統計局編, 原書房, 昭45.7
- 未来の日本人口 (濱英彦・岡崎陽一との共著), NHKブックス129, 日本放送出版協会, 昭45.11
- 1970年代におけるアジアの人口問題(黒田俊夫との共同監修), 社団法人アジア調査会, アジア・クォーターリー, 特集(第3巻第1号), 昭46.2
- 国際連合世界人口年鑑, Vol. 21, 1969 (翻訳監修), 国際連合統計局編, 原書房, 昭46.3
- 公害——環境の科学 (鈴木武夫・音田正巳との共編), 毎日新聞社, 近刊.

(2) 単行資料として発表のもの

a 日本人口学会年次大会における研究発表資料

＜研究発表題目＞

<回次(年月日)>

○社会の大きさによる基本的人口現象の変化に関する人口統計学的研究(上田正夫との共同報告) .....	1	(昭24. 3.19)
○1947年の市部郡部別及び都道府県別標準化出生率 .....	1	(昭24. 3.19)
○島の人口の研究について(大間地千代との共報) .....	2	(昭24. 6.29)
○2児制による近い将来の日本人口(高木尚文との共報) .....	2	(昭24. 6.29)
○安定人口について(上田正夫との共報) .....	2	(昭24. 6.29)
○戦後に現われた婚姻の変化(東京都職員に関する調査)(磯村光男との共報) .....	3	(昭24. 11.13)
○特殊動態離婚率について(石井喜一との共報) .....	3	(昭24. 11.13)
○将来人口に関する研究 .....	3	(昭24. 11.13)
○保健所における統計的研究の一事例(1)(菅野雅雄・横山やすえとの共報) .....	4	(昭25. 9.15)
○戦後における日本人口の地域的研究(1)——人口密度——(石井喜一・上村一夫との共報) .....	4	(昭25. 9.15)
○戦後日本の市郡別生命表(高木尚文との共報) .....	4	(昭25. 9.16)
○乳児生存率についての一研究(石井喜一・渡辺万里江との共報) .....	4	(昭25. 9.16)
○普通死亡率と静止人口死亡率との関係に関する研究(予報)(上田正夫との共報) .....	5	(昭26. 7. 7)
○戦後における日本人口の地域的研究(2)——中位数人口密度——(石井喜一との共報) .....	5	(昭26. 7. 7)
○Kuczynski の生命表の方法について(石井喜一・原万里江との共報) .....	5	(昭26. 7. 7)
○配偶関係と婚姻率について(川上光雄との共報) .....	6	(昭27. 10.28)
○保健所に於ける統計的研究の一事例(No. 3)(菅野雅雄との共報) .....	6	(昭27. 10.28)
○将来人口の推計について(渡辺定・上田正夫・高木尚文との共報) .....	6	(昭27. 10.28)
○人口再生産率についての一つの考え方 .....	7	(昭28. 10.17)
○Population Curve の一般的研究(篠崎吉郎との共報) .....	7	(昭28. 10.17)
○わが国人口再生産要因の変動と男女年齢別人口構造との関係 .....	8	(昭30. 3.19)
○島の人口の研究(2)——青ヶ島の人口増加——(濱英彦との共報) .....	8	(昭30. 3.19)
○人口地域的分布の高度について(皆川勇一・米谷静二との共報) .....	8	(昭30. 3.19)
○平均余命曲線 1 類型 .....	9	(昭31. 9.29)
○国連アジア及び極東人口センターの設置 .....	10	(昭33. 1.30)
○人口学的基準構造 .....	10	(昭33. 1.30)
○我国戦後における都市生活者の食物費構造の変動に関する 1 研究(第 1 報)(伊藤秋子との共報) .....	11	(昭34. 4.25)



- 人口地域的分布の自然的均等と経済的均等……………11 (昭34. 4. 26)
- 東南アジアの人口増加 (シンポジウム：東南アジアの人口問題) ……11 (昭34. 4. 26)
- “人口学的投資”に関する一研究 (伊藤秋子との共報) ……12 (昭35. 4. 24)
- わが国国内人口移動の potential ——人口の地域分布と所得のそれとの関係  
からみて (小山美紗子との共報) ……12 (昭35. 4. 24)
- わが国人口移動の potential と実際人口移動との関係 (小山美紗子との共報) ……13 (昭36. 4. 21)
- 大都市地域における人口の圏構造に関する 1 研究——東京都を中心とする大  
都市地域における人口密度と人口増加 (上田正夫・濱英彦・鈴木啓祐・天津  
るり子との共報) ……13 (昭36. 4. 21)
- 人口移動法則 300年——Graunt 初版発行 300年を記念して (小山美紗子との  
共報) ……14 (昭37. 5. 18)
- 中共要部の人口重心と人口ポテンシャルについて (暫定) (大澄一三と共報) ……15 (昭38. 5. 30)
- 日本の人口傾向のロジスティック分析 (高橋晟子との共報) ……16 (昭39. 6. 27)
- デモグラフィック・エラスティシティについて——マクロ・モデルによる分  
析—— (岡崎陽一との共報) ……16 (昭39. 6. 28)
- 50歳以上死亡割合についての一研究 (高橋晟子との共報) ……17 (昭40. 4. 23)
- 東海道メガロポリスにおける若干の核心都市の家計の一分析 (伊藤秋子との  
共報) ……17 (昭40. 4. 24)
- 都道府県別所得と人口移動 (伊藤秋子との共報) ……18 (昭41. 5. 13)
- 都市人口分布の「成長的順位法則」—日本の都市人口分布に適用した logistic  
曲線— (三澤緋佐子との共報) ……19 (昭42. 5. 13)
- Post-Partum Amenorrhea の人口学的社会的意義 (中野英子との共報) ……19 (昭42. 5. 13)
- 世帯規模と若干の人口学的要因との関係 (山口喜一・金子武治との共報) ……20 (昭43. 5. 11)
- 若干の外国都市人口分布に適用した「成長的順位法則」(三澤緋佐子との共報) ……20 (昭43. 5. 11)
- 人口再生産の地域構造における変化 (高橋晟子との共報) ……21 (昭44. 5. 31)
- 人口再生産力の地域構造における変化 (暫定) (山口喜一との共報) ……22 (昭45. 7. 4)
- 人口再生産力の地域構造の変化 (山口喜一・金子武治との共報) ……23 (昭46. 5. 15)
- 人口学における情報科学の活用 (山本幹夫・寺尾浩明・塩原秀子・林知己夫  
・黒田俊夫・長尾春雄との共報) ……23 (昭46. 5. 15)
- 高齢人口の増加と偏在 (山口喜一との共報) ……34 (昭47. 6. 28)

b その他の単行資料 (学会誌等に載録されたものを除く)

- 我が国の離婚について, 日本社会学会第10回大会研究報告会報告概要, 昭10. 5
- 戦争と人口を語る, 人口問題研究会, 人口問題資料第44輯, 昭16. 1
- 農村人口供出と農村人口構成及人口動態の変化に関する類型的研究(第 1 例), 日本学術振興会民族力増強  
第11特別委員会報告資料, 昭19. 5
- 地域的に見たる我が国生産力の発展と人口の集積——地域別 (人口圧力指数), 昭20. 11
- 都鄙分類の人口統計学的指標に就いて, 昭21. 11
- 社会の大きさから見た都市性に関する人口統計学的研究 (上田正夫との共筆), 昭22
- 社会の大きさによる産業構造の変化に関する研究資料 (第 1 報), 昭22
- 社会の大きさから見た年齢構成と標準化動態率, 日本統計学会第15回総会文書報告, 昭22
- 都鄙人口現象に関する基本的研究——社会の大きさと基本的人口現象の変化に関する人口統計学的 1 研究,  
学術研究会議第21班報告, 昭22

- 婚姻と離婚との関係に関する1つの統計的方法——婚姻に対する特殊離婚率——(石井喜一との共筆), 日本社会学会第23回大会報告資料, 昭24.10
  - 人口の面からみた東京, 第4回8学会連合大会報告資料, 昭25.5
  - 「社会統計」講義資料〔人口統計〕, 昭和26年度
  - 国勢調査論講義要綱〔人口統計〕, 衛生統計学科教材, 昭27.11
  - 1948~1957年推計都道府県別分配所得(暫定), 厚生科学研究費による研究資料, 昭36.2
  - 所得と人口との地域分布からみた人口大都市集中のポテンシャル, 経済企画庁総合開発局全国総合開発計画参考資料, 昭36.2
  - 1948~1958年推計都道府県別分配所得(暫定), 厚生科学研究費による研究資料, 昭36.10
  - 人口移動の経済的ポテンシャルからみた首都(暫定稿), 東京市政調査会首都研究所, 1961年度人口研究委員会研究報告3, 昭37.1
  - 首都を中心としてみた人口大都市集中に関する“法則”(暫定稿), 東京市政調査会首都研究所, 1961年度人口研究委員会研究報告2, 昭37.2
  - 人口移動についての統計的な考え方, 神奈川県特殊統計講習会テキスト, 昭37.3
  - 韓国家族計画運動の新発足をみる, 毎日新聞社人口問題調査会, 資料第91号, 昭38.3
  - 人口問題と統計——館稔博士講演要旨, 三重県統計課, 昭40.10
  - 1948~1962年推計都道府県別分配所得(暫定)(伊藤秋子との共筆), 昭和40年度厚生科学研究費「人口変動と国民生活に関する研究」研究資料(1), 昭41.2
  - 社会開発と地区組織, 社団法人全国地区衛生組織連合会, 昭41.9
  - 国連と家族計画——その公的記録をたどって——, 毎日新聞社人口問題調査会, 資料第97号, 昭41.11
  - 人口移動と地域開発, 1966年11月27日愛知県文化会館講堂における第8回愛知県統計大会記念講演速記, 愛知県統計課, 昭42.3
  - 人口革命の現状と展望——産業界はいかに対処すべきか——(速記録), 日本経営団体連盟, 労働管理委員会研究シリーズ No. 1, 昭43.8
  - 「日本人口の未来」, 毎日新聞社人口問題調査会, 資料第100号, 昭43.10
  - 日本の人口問題, 全国共済農業協同組合連合会『農村の健康福祉シリーズ』第21号, 昭43.12
  - 1948~1965年推計都道府県別分配所得(暫定), 昭和43年度厚生科学研究費研究資料, 昭44.2
  - 日本における人口研究の動向と展望——1968年を中心として, 毎日新聞社人口問題調査会, 資料第102号, 昭44.3
  - 社会開発と人口問題 Population Problems and Social Development, 社団法人社会開発統計研究所, 研究レポートR.1, 昭44.9
  - 第15回国際連合人口委員会概況などの報告, 毎日新聞社人口問題調査会, 資料第107号, 昭45.1
  - 日本の人口問題, 財団法人国鉄厚生事業協会福祉事業研究会講演資料第4号, 昭45.12
  - 昭和45年国勢調査からみた地域人口変動, 昭和46年1月26日日本地域開発センター主任研究懇談会講演速記, 日本地域開発センター, 昭46.3
  - 1948~1968年推計都道府県別分配所得(暫定)(伊藤秋子との共筆), 昭和46年度厚生科学研究費研究資料, 昭47.2
- (3) 英文で発表のもの
- Problem of Population and Economy of Japan (H. Inabaと共筆), Population Problems Series, No. 4, The Population Problems Research Council, the Mainichi Newspapers, Tokyo, 1951.
  - Recent Population Trends in Japan, Paper for UN/FAO Regional Census Training Centre for Asia and the Far East, Sept. 9, 1958

- Summary Report on Inspection of The Family Planning Movement in the Republic of Korea (Hidebumi Kubo, Minoru Muramatsu との共筆), Jan. 25, 1963
- Implication of Population Trends for Planning Social Welfare Services, United Nations Economic Commission for Asia and Far East, Asian Population Conference, APC/WP/6, 1963
- The Problem of Population and National Development, East Asia Christian Conference, The Consultation on "The Churches in Asia and Responsible Parenthood", February 21st-25th, 1964, Bangkok, Thailand, 1964
- National Development and Population Problems, International Planned Parenthood Federation, Western Pacific Region, First Regional Conference, 26th-29th May 1965, Seoul Korea, W.P.R. C. 3
- Population Problems in the Pacific, New Dimensions in Pacific Demography (Minoru Muramatsu との共編), Proceedings of the Congress Symposium No. 1 and Divisional Meeting of Section VIII No. 5, 11th Pacific Science Congress, Tokyo, August 22-September 10, 1966, Tokyo, 1971

### 3 図書・資料および雑誌に掲載された論稿

#### (1) 定期刊行誌

##### a 財団法人人口問題研究会『人口問題』に掲載のもの

- | < 論文題目 >  | < 巻号 : ページ (発行年月) >     |
|---|-------------------------|
| ○我が国配偶関係の観察 (一) (概報).....                               | 1-1 : 123~174 (昭10. 2)  |
| ○配偶関係より見たる死亡率 (昭和五年) .....                              | 1-1 : 203~210 (昭10. 2)  |
| ○我が国人口現象の社会学的研究に関する若干の資料.....                           | 1-1 : 211~246 (昭10. 2)  |
| ○岡崎文規氏「人口統計に於ける諸問題」.....                                | 1-1 : 284~287 (昭10. 2)  |
| ○ナチスの人口・民族政策.....                                       | 1-2 : 154~169 (昭10. 10) |
| ○婚姻及離婚と景気変動 (荒尾博正との共筆) .....                            | 1-2 : 205~220 (昭10. 10) |
| ○我が国人口問題研究最近の収獲.....                                    | 1-2 : 244~254 (昭10. 10) |
| ○我が国社会保健状態に関する一つの人口統計学的指標(予報)——我が国<br>死亡率標準化に就いて.....   | 1-3 : 166~205 (昭11. 4)  |
| ○我が国人口現象の社会学的研究に関する若干の資料 (二) .....                      | 1-3 : 317~344 (昭11. 4)  |
| ○ウェルプトン「独逸出生率激増の理由」.....                                | 1-3 : 349~357 (昭11. 4)  |
| ○故柳澤保恵伯爵を憶ふ.....  | 1-4 : 75~94 (昭11. 12)   |
| ○我が国人口の地方別増殖力に関する人口統計学的一考察(上)——我が国<br>標準化出生率に就いて.....   | 1-4 : 453~484 (昭11. 12) |
| ○我が国地方別人口増殖力に関する人口統計学的一考察 (下) .....                     | 2-1 : 217~238 (昭12. 6)  |
| ○アメリカ人口協会 "Population Association of America" に就いて..... | 2-1 : 318~322 (昭12. 6)  |
| ○一九三七年巴里国際人口会議.....                                     | 2-1 : 323~324 (昭12. 6)  |
| ○吉田秀夫氏著「黎明期の経済学」と南亮三郎教授著「人口論発展史」.....                   | 2-1 : 331~343 (昭12. 6)  |
| ○1935年ベルリン国際人口会議研究報告題名総覧.....                           | 2-1 : 附録15~38(昭12. 6)   |
| ○O. E. Baker 「人口趨勢の合衆国農業に対する意義」.....                    | 2-2 : 219~227 (昭12. 9)  |
| ○海外人口便り (一) .....                                       | 2-2 : 228~239 (昭12. 9)  |
| ○August Lösch「景気変動の一つの原因としての人口の循環変動」.....               | 2-3 : 337~347 (昭12. 12) |
| ○石井了一氏著「日本に於ける人口重圧と経済生活」.....                           | 2-3 : 356~362 (昭12. 12) |
| ○海外人口便り (二) .....                                       | 2-3 : 375~384 (昭12. 12) |
| ○工業化・都市化及び生活程度と出産力との関係に関する一観察 (予報) .....                | 2-4 : 295~309 (昭13. 4)  |

- 海外人口便り (三) ..... 2—4 : 364~376 (昭13. 4)
- 海外人口便り (四) ..... 3—1 : 412~413 (昭13. 10)
- 四国地方八市人口補給地域の算定 (上田正夫との共筆) ..... 4—1 : 71~87 (昭16. 8)
- 都鄙人口の体力と増殖力〔素訳〕(一)..... 5—1 : 171~187 (昭17. 9)
- 都鄙人口の体力と増殖力〔素訳〕(二)..... 5—2 : 197~221 (昭17. 12)
- 都鄙人口の体力と増殖力〔素訳〕(三)..... 5—3 : 89~129 (昭18. 2)
- 都鄙人口の体力と増殖力〔素訳〕(四)..... 5—4 : 98~109 (昭18. 6)

b 『日本人口学会記要』に掲載のもの

< 論文題目 >

<No.: ページ(発行年月)>

- 社会の大きさと基本的人口現象の変化に関する人口統計学的一研究 (上田正夫との共筆) ..... 1 : 71~85 (昭27. 8)
- Population Curve の研究 (篠崎吉郎との共筆) ..... 2 : 35~42 (昭29. 3)
- 一つの人口再生産率について..... 2 : 43~49 (昭29. 3)
- 日本の将来人口の一推計..... 3 : 47~50 (昭30. 3)
- 大都市地域における人口の圏構造——東京都を中心とする大都市地域における1950年, 1955年および1960年面積, 人口, 人口密度および1950年~1960年人口増加率—— (濱英彦との共筆) ..... 4 : 58~66 (昭38. 1)

c 『日本人口学会会報』に掲載のもの

< 論文題目 >

<No.: ページ(発行年月)>

- 都市人口分布の「成長的順位法則」——日本の都市人口分布に適用した logistic 曲線—— (三澤緋佐子との共筆) ..... 1 : 15~17 (昭42. 12)
- Post-Partum Amenorrhea の人口学的社会的意義 (中野英子との共筆) ..... 1 : 27~29 (昭42. 12)
- 世帯規模と若干の人口学的要因との関係 (山口喜一・金子武治との共筆) ..... 2 : 11~13 (昭43. 12)
- 若干の外国都市人口分布に適用した「成長的順位法則」 (三澤緋佐子との共筆) ..... 2 : 13~17 (昭43. 12)
- 人口再生産の地域構造における変化 (高橋晟子と共筆) ..... 3 : 23~24 (昭44. 12)
- 人口再生産力の地域構造における変化 (暫定) (山口喜一との共筆)..... 4 : 11~12 (昭45. 12)
- 人口再生産力の地域構造の変化 (山口喜一・金子武治との共筆) ..... 5 : 35~36 (昭46. 12)
- 高齢人口の増加と偏在 (山口喜一との共筆) ..... 6 : (近 刊)

d 『日本統計学会会報』に掲載のもの

< 論文題目 >

<年度: ページ(発行年月)>

- 再生産率間の関係と男女別に見た再生産率及安定人口動態率について (上田正夫との共筆) .....1949: 11~13 (昭25. 3)
- 簡易生命表について (高木尚文との共筆) .....1950: 13~17 (昭26. 1)
- Demographic pattern に関する1研究——実際人口の死亡率と静止人口死亡率との関係—— (上田正夫との共筆) .....1951: 26~31 (昭27. 11)
- 社会現象に関する logistic 曲線の応用について (上田正夫・高安弘との共筆) .....1952: 46~50 (昭27. 12)
- 結婚の生命表 附 配偶関係別生命表 (川上光雄との共筆) .....1952: 61~65 (昭27. 12)
- 一つの人口再生産率について.....1953: 99~104(昭28. 12)
- 安定人口構造のジェロントロジイ的意義 (上田正夫との共筆) .....1954: 1~8 (昭30. 8)

- 特殊の人口増加形態について……………1955：81～88（昭31. 6）
- 時間のデモグラフィー ‘Demodynamik’ における生存時間としてみた  
人口と人口動態 附 死亡率の改善は人口agingの原因であるか？——  
第22回総会 ‘安定人口構造の gerontology 的意義’ 報告追加……………1955：88～97（昭31. 6）
- 人口再生産要因の変動と基本構造の変動……………1956：52～62（昭32. 9）
- 最大平均余命……………1957：21～24（昭33. 4）
- 人口学的指数……………1958：46～48（昭34. 7）
- 戦後わが国における所得と人口の地域的分布……………1959：45～50（昭36. 1）
- 戦後わが国における所得と人口の地域的分布（2）——広島県について  
の試算……………1960：46～50（昭36. 8）
- 人口統計300年……………1962：19～22（昭38. 6）

e その他の「定期刊行誌」に掲載のもの

＜論文題目＞

＜掲載誌名：巻号（発行年月）＞

- 人口現象より見たる東北問題（上）……………社会事業：19—4（昭10. 7）
- 人口現象より見たる東北問題（下）……………社会事業：19—5（昭10. 8）
- ウ井ンに於ける職業別家族構成員数に関する一研究……………統計集誌：651（昭10. 9）
- 世界人口の動向と日本民族……………維新：3—1（昭11. 1）
- 人口密度の性質とシモンの経済的人口密度指数の概念……………統計集誌：659（昭11. 5）
- 国土計画より見たる都市人口増殖力……………都市問題：31—5（昭15. 11）
- 国土計画への関聯に於て見たる都市人口増殖力に関する若干の問題……………都市問題：32—1（昭16. 1）
- 人口都市集が一国人口増殖力に及ぼす影響の測定に関する一考察……………浪華の鏡：6—1（昭16. 1）
- 人口政策の立場より見たる国土計画に関する若干の基本的問題私見……………商工経済：11—1（昭16. 1）
- 国土計画に於ける都市の人口補給地域決定に関する一方法試論……………国土計画：1（昭16. 5）
- 我が国の人口問題と人口政策（1）……………日本医師会雑誌：17—1（昭16. 5）
- 我が国の人口問題と人口政策（2）……………日本医師会雑誌：17—2（昭16. 6）
- 我が国の人口問題と人口政策（3）……………日本医師会雑誌：17—3（昭16. 7）
- 国土計画に於ける都市配置に関する一つの人口政策的考慮……………農村工業：8—7（昭16. 7）
- 戦時戦後の我国人口問題に付て……………貿易：41—11（昭16. 11）
- 死亡減少策の円滑なる政策化……………医事公論：1533（昭16. 12）
- 人口増殖力の地域的差異と若干の文化的要因との関係……………医学と生物学：1—1（昭17. 1）
- 都市人口補給地域の設定について……………日本統計学年報：11（昭17. ）
- 在内地及び在内地外内地人口の普通動態率……………医学と生物学：1—9（昭17. 5）
- 在内地外内地人口の標準化動態率……………医学と生物学：1—10（昭17. 6）
- 都市を中心とする人口再配分政策について……………国土計画：1—1（昭17. 7）
- 都市の計画的配置と人口補給地域の設定……………日本社会学会年報社会学：9（昭18. 7）
- 都市人口補給地域設定に関する館の算式の奥羽地方都市に対する適  
用例……………民族科学研究：1（昭18. 12）
- 館の算式に拠る四国地方8市人口補給地域の算定……………民族科学研究：1（昭18. 12）
- 都市人口補給地域設定に関する館の算式の適用説明……………民族科学研究：1（昭18. 12）
- 国土計画への関聯に於て見たる都市人口増殖力に関する若干の問題……………民族科学研究：1（昭18. 12）
- 人口増殖力の地域的特性と人口再配分計画に於ける都市人口補給地  
域の設定……………民族科学研究：1（昭18. 12）

- 人口源泉としての農村人口保持に関する一研究……………農村工業：11-4（昭19. 5）
- 台湾の人口……………台新：1-2（昭19. 8）
- 我国将来の人口問題……………厚生時報：1-3（昭21. 3）
- 人口問題の現状と対策……………季刊大学：2（昭22. 8）
- 日本人口の将来……………日本医師会雑誌：21-7（昭22. 10）
- 80,000,000人——その生ひたちと意味するもの——……………8000万人：1-1（昭22. 11）
- 人口統計……………統計：9（昭22. 12）
- 人口統計（承前）……………統計：10（昭23. 1）
- 多婚多離，グラフを眺めながら想う……………8000万人：2-1（昭23. 3）
- 東京都人口の昼と夜……………統計：13（昭23. 8）
- 戦後日本民族人口の動き……………科学圏：9（昭23. 10）
- 人口統計から見た日本人口の将来……………厚生時報：4-3（昭24. 3）
- 世界の人口問題と寿命……………公衆衛生：8-2（昭25. 8）
- 農村人口問題……………農村と経済：9（昭25. 9）
- 人口問題と産児調節……………薬局の領域：1-2（昭27. 8）
- わが国現下の人口問題……………第7回日本公衆衛生学会特輯号（昭27. 8）
- 人口問題からみた避妊……………臨床婦人科産科：6-12（昭27. 12）
- 人口の老年化……………日本公衆衛生雑誌：1-5（昭29. 7）
- その14 人口問題，公衆衛生の戦後10年（3）……………日本公衆衛生雑誌：2-10（昭30. 10）
- 人口錯覚……………公衆衛生：19-1（昭31. 1）
- わが国人口老年化の実証的研究……………寿命学研究会年報：1956年（昭31. 7）
- 戦後世界人口問題の特徴……………エコノミスト：36-3（昭33. 1）
- わが国における労働力生命表——方法論からみた比較，検討（河野稔果との共筆）……………寿命学研究会年報：1958年（昭34. 10）
- 所得と人口との地域分布からみた人口大都市集中のポテンシャル……………都市問題：51-5（昭35. 5）
- イスラエルの国際科学会議に出席して……………統計：11-10（昭35. 10）
- イスラエルの科学技術と資源（Israel, Nation of Science and Spisit）……………資源：95（昭35. 12）
- 国勢調査は警告する——年齢構造と人口分布の激変……………朝日ジャーナル：2-51（昭35. 12）
- 1960年国勢調査概数に現われた人口問題の問題点——人口再分布と人口移動のポテンシャルとの関係を中心として——……………都市問題：52-2（昭36. 2）
- 最近の人口動向と経済・国土対策……………新都市：15-4（昭36. 4）
- 地域間に見る労働力移動の類型（岡崎陽一との共筆）……………東洋経済別冊：夏期号3（昭36. 6）
- 人口統計の問題点……………日本経済学会連合プレティン：9（昭36. 7）
- 首都圏人口の圏構造（濱英彦との共筆）……………都市問題：52-10（昭36. 10）
- 近代形式人口学と統計……………統計：12-11（昭36. 11）
- 国内人口移動の補償法則について（小山美紗子との共筆）……………都市問題：52-11（昭36. 11）
- 生活水準と人口移動——人口移動の局面から……………国民生活研究：1-1（昭37. 4）
- 人口統計三〇〇年……………統計：13-11（昭37. 11）
- 所得の地域分布と国内人口移動——デモグラフィの見地から，グラント初版発行三百年を記念して……………経済学研究：7（昭38. 3）
- わが国人口の動向……………国土：13-2（昭38. 9）
- 日本人口地域分布変動の動向——1965年国勢調査速報にみる——……………地域開発：16（昭41. 1）
- 太平洋人口学の新次元——近代化と人口問題……………朝日ジャーナル：8-40（昭41. 9）

- 第11回太平洋学術会議，人口問題総会シンポジウムの記録抄……………厚生指標：13—12（昭41. 10）
- 太平洋人口学の新たな次元と公衆衛生……………日本公衆衛生学雑誌：13—13（昭41. 11）
- 世界の人口問題……………国民：810（昭41. 12）
- 二〇年後への社会教育の課題——人口問題の見地から……………社会教育：22（昭42. 1）
- 人口・世帯の変化と産業革命……………新聞経営：18（昭42. 1）
- 川崎市の特性から見た人口の問題——前編……………統計川崎：38（昭42. 1）
- 日本の人口問題（記念講演）……………統計千葉：22—1（昭42. 1）
- 川崎市の特性から見た人口の問題——後編……………統計川崎：39（昭42. 3）
- 老年社会科学の諸問題について（橋覚勝・渡辺孟・渡辺定・吉川政巳との座談会）……………高令医学：5—1（昭42. 3）
- Congress Symposium No. 1——太平洋地域における人口問題（特集：第11回太平洋学術会議）……………学術月報：19—12（昭42. 3）
- 地域開発と人口問題……………統計月報（鳥取県）：157（昭42. 5）
- 一億人口の質を高めよう……………クリティック：1—9（昭42. 9）
- 一億人口——ふに落ちないことばかり……………ジュリスト：379（昭42. 9）
- 人口動態からみたアジアと日本の将来——両者の対照的な人口動態がそれぞれにおいてもつ意味をさぐる……………新国策：34—30（昭42. 10）
- 人口革命期の老年開発論……………プレジデント：5—14（昭42. 12）
- “人的資源”をめぐる（堀貞治・加藤威夫・黒沢俊一との座談会）……………資源：166（昭43. 2）
- 日本の人口問題の現状と将来……………人事局報：11（昭43. 3）
- 人口問題と教育（一）……………学校経営：13—3（昭43. 3）
- 人口問題と教育（二）……………学校経営：13—4（昭43. 4）
- 世界の人口事情……………産婦人科の実際：17—7（昭43. 7）
- 人口の動向……………地域開発：48（昭43. 9）
- 縮小再生産型の日本の人口動態——将来の人口と人口問題——…日本経済研究センター会報：89（昭43. 10）
- 人口問題——今後20年間の課題（舘 稔講演資料）……………地域開発：53（昭44. 2）
- 今後日本の人口問題……………国民健康保険：20—3（昭44. 3）
- 巨帯都市の人口構成予測と…レクリエーション活動（黒田俊夫との共筆）……………horizon：1—1（昭44. 3）
- 最近の人口動態……………Medical Radar：2—3（昭44. 3）
- 日本人の現状と将来——労働力人口の動向を中心として……………Chamber：215（昭44. 5）
- 社会開発と人口問題……………複十字：87（昭44. 5）
- 人口爆発はどうか（上）——国連と人口問題——…国連東京 KOKUREN TOKYO：100（昭44. 8）
- 人口爆発はどうか（下）——国連と人口問題——…国連東京 KOKUREN TOKYO：101（昭44. 9）
- 人口革命は日本をどう変えるか，“子供は二人”の風潮が将来人口の激減を招く……………文芸春秋：47—11（昭44. 10）
- 高齢者の能力の活用……………職業安定広報：20—28（昭44. 10）
- 第15回「国連人口委員会」出席報告……………世界と人口：10（昭45. 1）
- 人口問題からみた老化の諸問題……………老化防護研究：1—2（昭45. 2）
- 日本人の動向と70年代の雇用問題について……………職業研究：24—3（昭45. 3）
- これからの日本の人口と子ども……………こども部屋：12—3（昭45. 3）
- 70年代と国勢調査（森田優三・中野尊正・角本良平・鮫島龍行との座談会）……………統計：21—6（昭45. 6）
- 日本の人口問題……………自治研修：120（昭45. 8）

- 世界人口と日本人の未来……………総合科学政策： 5 (昭45. 10)
- 日本の人口問題 (一) ……………心：23—12 (昭45. 12)
- 巻頭論文——第2回国際家族計画連盟西太平洋地域会議について…アジアクォーター：3—1 (昭46. 2)
- 日本の人口問題 (二) ……………心：24—2 (昭46. 2)
- 日本の人口問題 (三) ……………心：24—3 (昭46. 3)
- 人口・経済・エコロジー (梅棹忠夫・安川正彬との座談会——特集：人  
口爆弾をかかえた地球) ……………中央公論：5月号 (昭46. 5)
- 日本の人口問題とその現状と将来について……………統計季報(大宮市)：特集(1971号外) (昭46. 5)
- 地方分散と都市集中……………日本経済研究センター会報：156(昭46. 7)
- 日本の人口・世界の人口 (はやし秀との対談) ……………公衆衛生情報：559 (昭46. 7)
- 人口年齢構造の推移と国際比較……………総合臨床：20—10 (昭46. 10)
- 日本列島の人口分布……………農業協同組合：71—11 (昭46. 11)
- 人口問題の現状とその将来を聞く——価値観一般の変化と人口動態……………日本経済公論：71—12 (昭46. 12)
- 老人の増加と偏在……………ジュリスト：495 (昭46. 12)
- 老人をどう職場に生かすか——人口の高齢化と高年齢者の雇用対策の在  
り方——……………東商：296 (昭47. 2)
- 日本の人口資質問題……………貯蓄時報：91 (昭47. 3)

(2) 単行図書・資料に掲載のもの

< 論文題目 >

< 掲載図書・資料名, 発行所, 発行年月 >

- 日本人口論……………社会学体系, 第4巻 人口と民族, 昭23
- 日本人口の現状と将来……………厚生省人口問題研究所編・人口問題叢書第一集, 現下の人口問題  
——日本の人口及び人口問題——, 上巻, 国民教育社, 昭24. 8
- 戦後の日本人口……………毎日新聞社人口問題調査会編, 日本の人口問題, 昭25. 8
- 人口問題……………日本社会事業短期大学編, 社会福祉辞典, 昭27. 7
- 日本の人口 (上田正夫との共筆) ……………日本地理新大系, 第2巻, 佐藤弘・渡辺操編：社会・経済,  
河出書房, 昭27. 12
- わが国人口の現状……………毎日新聞社人口問題調査会編, 日本の人口, 毎日ライブラリー, 昭29. 12
- 1954年世界人口会議を通じてみた世界の人口問題……………財団法人人口問題研究会, 人口問題講演会講演集  
(第17集), 人口問題資料第55号, 昭29. 12
- 人口 (上田正夫との共筆) ……………新地理学講座, 第5巻, 木内信蔵編：人口, 集落地理, 朝倉書店, 昭30
- 人口の老年化……………緒方知三郎・尼子富士郎・冲中重雄編, 老年病学, 第1巻, 金原出版株式会社, 昭31. 9
- 新生活運動と人口問題……………人口問題研究会, 新生活運動の指針, 昭31. 11
- 人口問題からみた生活設計……………新生活運動の理念と実際, 人口問題資料第59号, 昭35. 2
- アジア人口の将来 (小林和正との共筆) ……………アジア経済研究所, アジアの人口構造, アジア経済研究  
シリーズ1, 昭35. 3
- 近代デモグラフィの発達……………南亮三郎編, 人口論史——人口学への道, 人口学研究会  
研究叢書I, 勁草書房, 昭35. 10
- 国内人口移動の機能……………館 稔編, 日本の人口移動, 形成選書, 古今書院, 昭36. 10
- アジア人口の増加予測と構造変化 (小林和正との共筆) ……………アジア経済研究所, アジアの人口増加と経済  
発展, アジア経済研究シリーズ20, 昭37. 3
- 人口移動の経済的機能と大都市……………館 稔編著, 大都市人口の諸問題——日本の人口移動(2)——,  
形成選書, 古今書院, 昭37. 11



- 世界人口の成長と将来予測……………南亮三郎・笹 稔編, 世界の人口問題, 人口学研究会研究叢書Ⅱ, 勁草書房, 昭38.5
- 社会開発……………財団法人人口問題研究会, 人づくり, 人口問題資料第74号, 昭40.3
- 人口都市化に関する人口法則……………南亮三郎・笹 稔編, 人口都市化の理論と分析, 人口学研究会研究叢書Ⅲ, 勁草書房, 昭40.12
- 新生活運動と人口問題……………財団法人人口問題研究会, 新生活のささえ, 人口問題資料第75号, 昭41.3
- 人口問題からみた新生活運動……………財団法人人口問題研究会, 不況下の新生活, 人口問題資料第76号, 昭41.11
- 人口転換過程からみた日本の近代化……………土方成美博士喜寿記念論文集, 経済体制および経済構造, 鹿島研究所出版会, 昭42.12
- “国連アジアおよび極東地域センター”報告書……………毎日新聞社人口問題調査会編, 世界の人口——人口問題総合報告書第二集, 昭43.5
- ソ連における専門的技術的人的資源——その教育, 訓練, および供給(島村俊彦との共筆) ……毎日新聞社人口問題調査会編, 世界の人口, 人口問題総合報告書第二集, 昭43.5
- “人口”が警告する未来社会の“かげり”(石山四郎との対談)……………石山四郎編, 未来産業社会との対話, ダイアモンド社, 昭44.10
- 労働力の長期展望……………社団法人日本マネジメントスクール日本経営研究所, 経営と今日と明日, 経営朝食会Ⅲ, 昭45.3
- 総論——人口革命の進展……………毎日新聞社人口問題調査会編, 日本の人口革命, 昭45.7
- 人口問題からみた七〇年代……………山田雄三編, 70年代社会の課題と目標, 至誠堂, 昭45.12
- 地球の「人口爆発」……………西川治・河辺宏・田辺裕編, 地理学と世界——人文地理学とその周辺——, 木内信蔵教授還暦記念論集第二冊, 昭46.4
- 高年齢人口についての問題点……………財団法人地域社会研究所高年齢層研究委員会, 高年齢を生きる, 1 高年齢人口の問題点, 国勢社, 昭46.9
- 日本人口の将来……………財団法人人口問題研究会, 家庭福祉の実際, 人口問題資料第81号, 昭47.1
- 都市人口学説史概説……………東京市政調査会, 都市・自治学説史概説, 東京市政調査会50周年記念論文集, 昭47.2
- “爆発”する世界の人口……………毎日新聞社人口問題調査会, 危機に立つ人口, 昭47.6
- 七〇年代の人口問題……………毎日新聞社人口問題調査会, 危機に立つ人口, 昭47.6

(3) 英文で発表のもの

< 論文題目 >

< 掲載書・誌名, 巻号, 発行年月 >

- A Statistical Study on the Variation of Basic Demographic Phenomena by the Size of Communities (Masao Uedaとの共筆) ……Archives of the Population Association of Japan, No. 1, Tokyo, 1952.
- Basic Maps of Japanese Population Showing Regional Characteristics (Masao Ueda, Hidehiko Hama との共筆)……………Dr. T. Tsujimura, *Distribution Maps on The Regional Geographical Study of Japan*, 1952.
- On a Replacement Index of Population……………Archives of the Population Association of Japan, No. 2, Tokyo, 1953.
- A Study on Population Curve (Kichiro Shinozaki との共筆) ……Archives of the Population Association of Japan, No. 2, Tokyo, 1953.
- An Estimate of Future Population of Japan……………Archives of the Population Association of

*Japan*, No. 3, Tokyo, 1954.

- An Estimate of Future Population of Japan .....UN., *Proceedings of the World Population Conference, Rome, 31 August-10 September 1954, Papers: Vol. III*, New York, 1955.
- II. Population Statistics.....Japan Union of Association of Economic Sciences, *Japan Science Review, Economic Sciences, No. 3, Review of the Activities in the Studies of the Statistical Sciences in Japan*, Tokyo, 1956.
- Changing Japan: III The Population Problem.....Asahi Shimbunsha, *Japan Quarterly*, Vol. V, No. 1, Tokyo, January-March, 1958.
- Chapter III. Section 5, Life Tables, Chapter IV. Population Estimates.....Japanese National Commission for Unesco, *Manual of Demographic Statistics in Japan*, Tokyo, March 1958.
- Regional Characteristics of Population in Japan (Masao Ueda, Hidehiko Hama との共筆).....The Science Council of Japan, *Proceedings of International Geographical Union Regional Conference in Japan, 1957, August 28-September 3, 1957, Tokyo and Nara*, Tokyo, 1959.
- The Japanese Experience (The Population Explosion).....Ruth Gruber (edited), *Science and the New Nations, The Proceedings of the International Conference on Science in the Advancement of New States at Rehovoth, Israel, 1960* (Basic Books, Inc.), New York, 1961.
- The 'baby boom' and after.....*Japan Quarterly*, Vol. VIII, No. 3, July-September, 1961.
- Nippon 1962 compiled by The Tsuneta Yano Memorial Society.....*Japan Quarterly*, Vol. X, No. 1, January-March 1963.
- Demographic Sphere Structure in Metropolitan Area (Hidehiko Hama との共筆).....*Archives of the Population Association of Japan*, No. 4 (English Edition), Tokyo, 1963.
- Regional Income Disparity and Internal Migration of Population in Japan.....The University of Chicago, *Economic Development and Cultural Change*, Vol. XII, No. 2, Jan. 1964.
- Labour: Population Trend and Economic Growth in Japan.....Kenneth Berrill (edited), *Economic Development with special reference to East Asia, Proceedings of a Conference held by the International Economic Association*, London, 1964.
- The Problem of Population and National Development.....East Asia Christian Conference, *The Asian Churches and Responsible Parenthood, EACC Consultation, Bangkok, Thailand February 21-25, 1964*, Manila, 1965.
- Economic Development and Population Growth—with Special Reference to South-east Asia (Yōichi Okazaki との共筆).....The Institute of Asian Economic Affairs, *The Developing Economies, Vol. III, No. 4, Special Issue, The Modernization of Japan*, Dec. 1965.
- National Development and Population Problems.....International Planned Parenthood Federation, Western Pacific Region, *Proceedings of the Regional Conference, Seoul, Korea, May 1965*, Tokyo, 1965.
- Convener's Opening Address, The Eleventh Pacific Science Congress, Congress Symposium No. 1, Population Problems in the Pacific, August 23, 1966, Tokyo.....Institute of Population Problems, Ministry of Health and Welfare, *English Pamphlet Series No. 63*, Oct. 1, 1966.

- Summary of Comment on the Natural Association of Population Change in Development with special reference to Japan.....Institute of Population Problems, *English Pamphlet Series* No. 63, Oct. 1, 1966.
- Population Trend and National Development—Some Experiences in Japan.....Association for Overseas Technical Scholarship, *Kenshu, Trainees Quarterly* Vol. 22, Winter 1966.
- Comments on General Topics on Population Problems and the Family.....Family Planning Association of India, *Report of the Proceedings, XVII, International Conference on the Family, 1966*, 1968.
- Fertility and Household Size.....*Report of the Proceedings, XVII International Conference on the Family, 1966*, published by Family Planning Association of India, 1968.
- Japan's Postwar Population and Labor Force (Yoichi Okazaki との共筆) .....Institute of Developing Economies, Tokyo, Japan, *The Developing Economies*, VII-2, June 1969.
- The Natural Association in Development with Special Reference to Japan.....Minoru Tachi and Minoru Muramatsu (edited), *Population Problems in the Pacific, New Dimensions in Pacific Demography*, Tokyo, 1971.
- The Inter-Regional Movement of Population as Revealed by the 1970 Census.....Japan Center for Area Development Research, *Area Development in Japan*, No. 4-1971, Tokyo.
- Introduction, Family Planning in Japan—National Opinion Surveys on Family Planning——.....*Family Planning in Japan, Opinion Survey by the Mainichi Newspapers*, Published by: Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning, Tokyo, 1972.